

消防協力者に対する表彰式を実施しました（令和元年6月20日）

1 表彰式

- (1) 日時 令和元年6月20日（木）
午前9時30分から
- (2) 場所 比企広域消防本部
埼玉県東松山市大字上野本1300-1
- (3) 種別 救急救助
- (4) 対象者 2名

2 表彰の概要

平成31年4月22日（月）午後9時頃、滑川町月の輪地内の極真館空手道場において、空手の稽古をしていた55歳の男性指導員（山田氏）が突然倒れ、心肺停止状態になる救急事案が発生しました。

現場に居合わせた人達が男性のもとに駆け寄ると、男性は次第に呼吸と脈が無くなり、2名の協力者（関根氏、奥井氏）によって救命処置がされました。

消防隊及び救急隊が到着するまでの間、胸骨圧迫、AEDによる電気ショックの救命処置が続けられ、男性は現場にて呼吸・脈拍が再開しました。男性は入院加療の後、5月2日に独歩にて退院（社会復帰）しました。

協力者の迅速かつ的確な救命処置が、男性の一命を取りとめる一因となったもので、その功績を称え消防長から感謝状と記念品が授与されました。

小林消防長からは「空手道を志す道場において発生した救急の事案に的確な対応ができたのは、心技体のうちの心が鍛えられていた功績である。現在、全国的にAEDは普及しているが、それを使って救命まで導くことは容易なことではない。勇気を持って救命処置を行ってくれたことに感謝申し上げる。」と述べられました。

社会復帰された山田氏も当表彰式に参加され、山田氏からは、「命を救ってもらった今回の経験を機に、全国の空手道場にもAEDが設置されるように大会や会合を通じて呼びかけ、万が一の事態に対応できるようにしていく。」とコメントがありました。

3 協力者の皆さま



前列左から関根氏、山田氏、奥井氏、後列 小林消防長